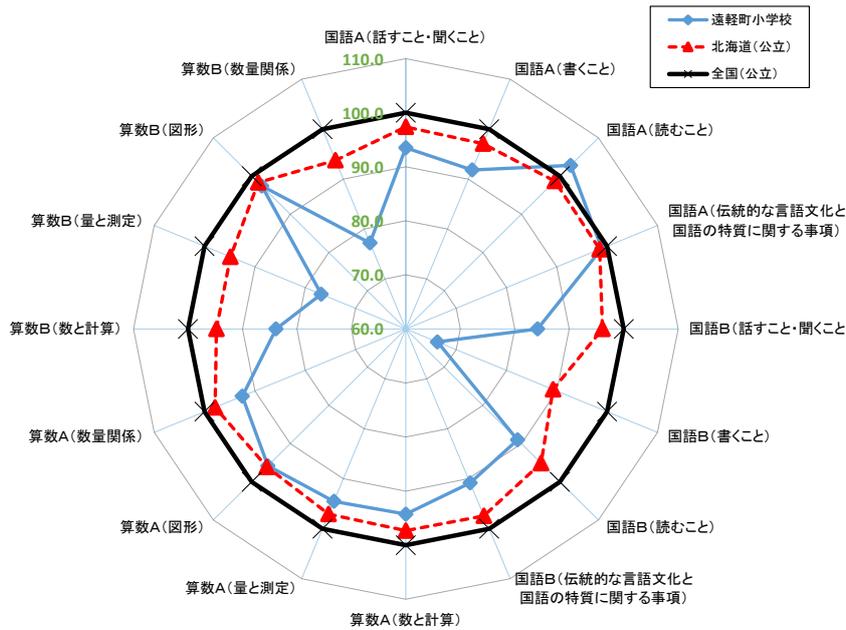


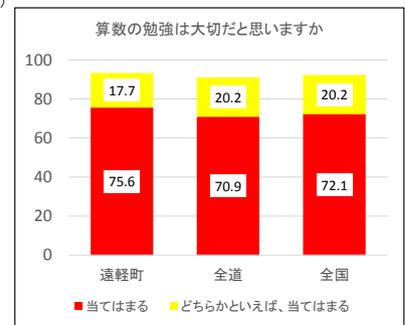
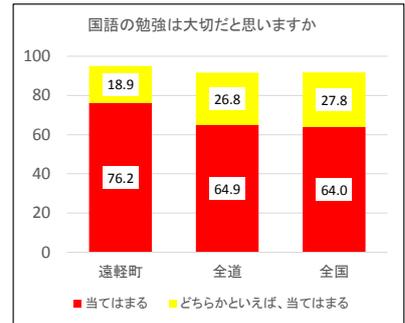
■ 遠軽町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、児童数:164名)

【教科全体の状況】

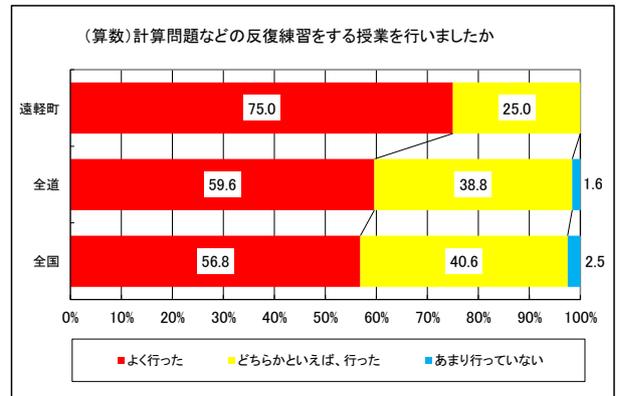
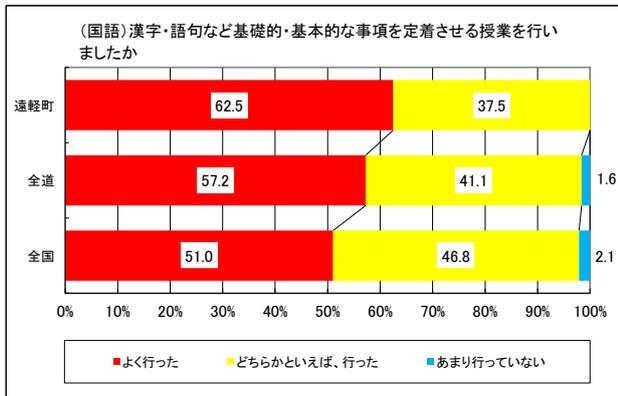
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aの「読むこと」領域の平均正答率が全道・全国と比べて高い。特に、「文章を読み、表現の仕方を捉える」問題の理解度が高い。</li> <li>○ 算数Aの「数と計算」領域の「加法の計算」や「整数の乗法」の理解度が特に高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校が、授業や宿題などで漢字の読み書きや計算の練習を繰り返し行うことにより、児童は、「国語や算数の学習は大切であるという」考えをもつとともに、「読み・書き・計算」の基礎的・基本的な知識・技能の定着につながっていると考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「国語の勉強は大切だと思いますか」、「算数の勉強は大切だと思いますか」という質問に、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が全道、全国よりも高い。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語科において、「漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った」と回答した学校の割合が全道・全国よりも高い。</li> <li>○ 算数科において、「計算問題などの反復練習をする授業をよく行った」と回答した学校の割合が、全道、全国よりも高い。</li> </ul>	

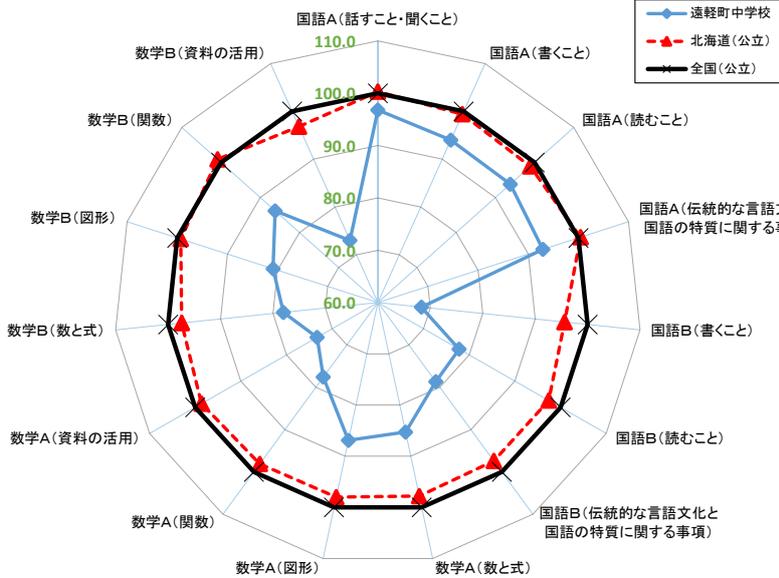
【遠軽町の学力向上策】

- ◎ 各小中学校での児童生徒用PCの更新など学習環境の整備
- ◎ 町費負担による3名の英語指導助手を活用した外国語教育の充実

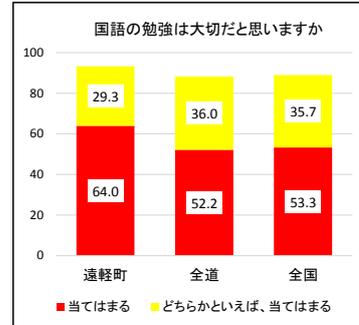
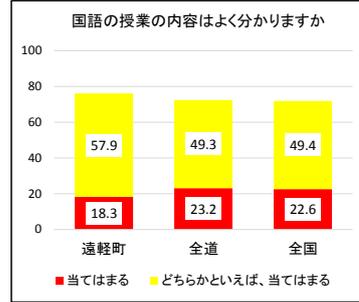
**遠軽町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、生徒数:164名)**

**【教科全体の状況】**

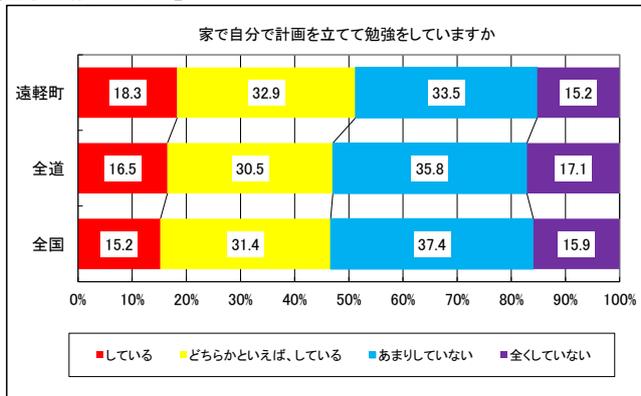
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



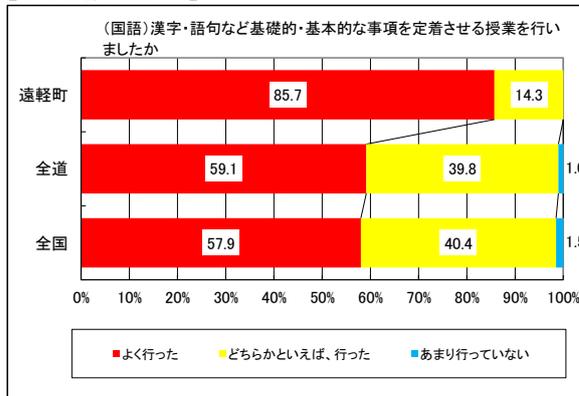
**【生徒質問紙調査】**



**【生徒質問紙調査】**



**【学校質問紙調査】**



**【分析】**

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aの「書くこと」領域において、「集めた材料を分類するなどして整理する」の理解度が特に高い傾向にある。</li> <li>○ 数学Aの「図形」領域において、「線対称な図形を完成させる」問題の理解度が他の領域と比較すると高い傾向にある。</li> </ul>	○ 各学校が、基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った結果、学習意欲の向上がみられ、「勉強は大切である」という考えをもち、計画的に家庭学習の取組を行うことにより学力の向上につながっていると考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「国語の授業の内容はよく分かりますか」、「国語の勉強は大切だと思いますか」という質問に、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が全道、全国よりも高い。</li> <li>○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に、「している」「どちらかといえば、している」と回答した生徒の割合が全道、全国よりも高い。</li> </ul>	
学校質問紙	○ 「漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか」という質問に「よく行った」と回答した学校の割合が全道、全国よりも高い。	

**【遠軽町の学力向上策】**

- ◎ 各小中学校での児童生徒用PCの更新など学習環境の整備
- ◎ 町費負担による3名の英語指導助手を活用した外国語教育の充実